



由良町

こんにちは! 議会です

発行/由良町議会 発行責任者/議長 上野 諭
編集/議会広報編集委員会
〒649-1111 和歌山県日高郡由良町里1220-1
TEL.0738(65)1100 FAX.0738(65)0226

2014.5.1

NO. 102



26年度の

ピカピカ 新入生

平成26年 3月定例会 3月11日～20日

平成26年度一般会計・特別会計 歳入歳出それぞれ総額69億8940万円

平成26年3月11日から20日まで10日間の会期で開きました。今回の定例会では、条例8件、条例改正9件、人事案件1件、当初予算7件、補正予算7件すべて原案通り可決・承認・同意しました。一般質問は、6名の議員が登壇しました。また、開期中に懲罰特別委員会が設置され、案件は継続審査になりました。

当初予算

平成26年度の 主な施策

- ①安全で住みやすい町づくり
 - 防災対策事業 9億9168万円
 - 下水道事業 6億6137万円
- ②健やかで生きがいのもてる町づくり
 - 高齢者対策
 - 障害児者対策
 - 医療対策
 - 児童手当
 - こども園運営費
 - 学童保育
 - 青少年対策
 - 小・中学校支援
- ③子どもの育成支援 3億1921万円
 - 子育て支援事業
 - こども医療費
 - 児童手当
 - こども園運営費
 - 学童保育
 - 青少年対策
 - 小・中学校支援
- ④活力ある地域産業づくり 1億7185万円
 - 農業振興
 - 漁業振興
 - 商工業振興
 - 観光振興
 - 地域・ひと・まちづくり事業
- ⑤交通基盤の整備 2億5505万円
 - 町道整備
 - 交通網の充実



歳入

（質疑の一部）
町税の減収要因は？
企業の業績見込みによる

問 町税が昨年度より大きく減収になっているが、その要因は？
答（総務課長）町民税については、個人で前年の所得のマイナス4%、法人では企業の業績見込みによって増減があります。固定資産税は、3年に一度

問 今年度のふるさと納税の件数は？
答（企画政策課長）ふるさと納税については、25年度で7件、うち1件は日高町で残りは他府県からです。

歳出

旧原野のより良い活用を
都市との交流も目指す

問 産品所を開設する計画はあるのか？旧原野の活用方法は？
答（町長）せっかく寄附していたいただいた古民家です。市内の職員でプロジェクトチームを立ち上げ、色々検討した結果の成果として予算計上をさせていただいている。地元の農業者や漁業者の方々と高齢者の皆さんに、長屋門の部分を利用してもらいながら、生き甲斐をもって産品を売って頂けるような、旧原野の利用促進を目指しています。また、地域の役員、NPO、各種団体、JA、町内の方々が集い、施設の活用、都市との交流も目指していきたい。



コミュニティバスの今後の対応は？
今後、協議し改善

問 畑・中・門前地区コミュニティバス運行状況は？
答（総務課長）今、検

問 ミニミニバス運行状況は？
答（総務課長）今、検

今後、どう運行するのか？
減便運行等をする方が良いのか、検討する余地があり、また、停留所についても追加するところが出てくるかなと考えています。

問 また今後、阿戸地区へ行くのかどうかも含めて検討し、実際に運行しているバス会社とも協議をし、少しでも改善できるように、より良いコミュニティバスにしていきたい。



通園バスの利用希望者数は？
50名程度

問 通園バスの利用希望者数は何名か？
答（住民福祉課長）希望者数は、50名です。説明会では、「こども園」まで行くのにも時間がかかるので、通園バスを出してほしいとの要望が多くあり、通園バスを4台ぐらい予定し

問 行政側から通園バスを提供することにおいて、安全面に最大の配慮をしておく必要があるのではないか？
答（住民福祉課長）バス会社には今まで以上に安全運転を心がけて頂くと共に、保育士を同乗させる義務はないとはいえず、現時点では誰かを同乗させる方向も考えています。

消防団招集システムとは？
団員・町職員へメール配信

問 今回新しく消防団招集システムが導入されますが、どのような方法でいつから導入されるのか？
答（総務課長）現在、消防団員や職員への伝達手段としては、防災行政無線を通じてのみですが、今後は、携帯電話等へ一斉メール配信するシステムを導入します。このシステムは、返信できませんが、各団員などが配信されたメールを見たかどうかを発信者は確認できるようになっています。

住民参加型直営農道等の整備に利用

問 新規事業として、住民参加型直営農道事業が予定されています。今回、三尾川地区で予定されていますが、具体的な中身は？
答（町整備課長）県の小規模土地改良事業で、県補助金50%の交付を受け、農道や水路等の整備を進めていくものです。今後のあり方としては、この事業推進団体を設立していただいて、その団体が施工することになります。

由良町合併60周年の記念企画は？
DVDを作り町のPRを

問 合併60周年を記念してDVDを製作と聞いたが、どのような内容か？
答（総務課長）合併60周年を記念して、町歌のPRとか、60年経った町の姿を後世に伝えていきたい思いがあり、作成するものです。また、町内の小・中学校の児童・生徒に配布したいと思います。

中山間地域等直接支払推進事業は？
原則5年に1回、見直しができるが...

問 中山間地域等直接支払推進事業は、平成27年度も継続されるのか？
また、江ノ駒地区、阿戸地区は除外されているが、復活できる可能性はあるのか？
答（参事・産業建設課長）この事業は、平成27年度以降も現行制度を維持したいと国から聞いております。農用地区域に入っていないと適用ができません。三井造船誘致の際、宅地化されると見込まれる農地ということで除外しました。受益面積等の条件もありますが、原則5年に1回は見直しがありますので、見直しをかけて進めてまいります。しかし、絶対適用されると断言できません。

新しい衣奈トンネルは？
平成27年度に完成予定

問 県道御坊由良湯浅線の衣奈トンネルについては、町内でも感心が高い問題です。工事計画についてお聞きします。
答（参事・産業建設課長）門前・衣奈間のトンネル工事については、3月14日の県議会でも議決され、仮契約から本契約となりました。工期は、今年3月15日から平成27年10月31日となっています。



平成26年度 特別会計当初予算 総額31億6940万円

国民健康保険

歳入・歳出9億8400万円

一般会計からの繰入れは？

主な要因は、軽減分の補填

問 一般会計からの繰入れについて、その主な内訳は？

答 (税務課長) 法的なルールに則って繰入れをしています。主なものについて



人間ドックの実績は？

3年以上、健診を受けてなかった人が利用

問 人間ドックが開始されて2年経ちました。総合健診と比較して実績と効果は？

答 (住民福祉課長) 平成24年度に始め、24年度は123名の方が、人間ドックを受けました。その中で過去3年以上「総合健診」を受けていなかった方が、25名、約20%という実績です。25年度については、10月末

までの受診者は95名で、うち19名が3年以上総合健診を受けていなかった方でした。実績から、年6回の総合健診の日程では、合わないという方がおられるのかなと思います。人間ドックを開始した事で、3年以上健診を受けていなかった方が利用されたという事は、評価していきたいと思っています。

後期高齢者医療保険

歳入・歳出1億5870万円

肺炎球菌ワクチンの予防接種は？

11月頃から定期摂取に

問 肺炎球菌ワクチンの予防接種について、答弁願います。

答 (住民福祉課長) 任意接種だったこの肺炎球菌

菌の予防接種ですが、本年1月から国の方で定期接種にする決定、具体的なことは決まっていますが、11月頃から実施できるようにしたい。

介護保険

歳入・歳出7億6600万円

介護保険制度の問合せは？

地域包括支援センターに相談

問 介護保険制度について、町民からどのような問合せがあるのか？

答 (住民福祉課企画員) 介護認定をされている方は、担当ケアマネが付いて各種サービスを適正な形で受

けられるような指導。また、介護を受けてみたい等、わからない事があれば、役場に設置している地域包括支援センターで相談して下さい。専門職員2名で対応しています。

介護給付費の伸び率が鈍化しているが？

在宅サービス利用者の減

問 介護給付費が、ここ2年ほどの伸び率は鈍化しているとの事ですが、その要因は？

答 (住民福祉課企画員) 平成24年度、町内に30床特養施設が増え、在宅サービスを受けられていた方が入所され、施設サービスの給付

費は増えていますが、逆に在宅サービス給付費が減っています。また、サービスを使われる方が、今までは年々伸びていたが、ここに来て、その割合が止まってきたのが給付費の伸びを鈍化させている要因だと思います。

公共下水道事業

歳入・歳出5億4800万円

里、門前地区の計画は？

平成30年度完成予定

問 里、門前地区の下水道事業について、今後の計画は？

答 (上下水道課長) 26年度は、詳細設計を終え、

27年度から本格的に管渠工事を開始し、平成30年度完成に向けて進捗したいと思っています。

漁業集落環境整備事業

歳入・歳出2億3500万円

小引地区の計画は？

平成28年度に完了予定

問 小引地区の今後の計画についてお聞きします。

答 (上下水道課長) 26年度は詳細設計、27年度

から本格的に管渠工事を実施し、28年度に完了させたいと思っています。

水道事業

支出4億7770万円

三尾川簡易水道の統合は？

平成27年度に完了予定

問 三尾川簡易水道の統合整備に1億903万円、前年度より増額されていますが、今後の計画についてお聞きします。

答 (上下水道課長) 25年度に詳細設計を済まし

ています。26年度と27年度2カ年で管渠工事等を完了し、これで町内全域に里浄水場から水道水が供給されることとなります。

人事

由良町固定資産評価審査委員会委員の選任について

竹野 寿氏

(門前一六〇番地)の選任に同意しました。

編集後記

春、新しい職場、新しい環境、それぞれに心弾ませ期待一杯でしょうね。社会や学校それぞれには、決められたルールがあります。ルールを守らないとトラブルの原因になりかねません。気をつけましょうね。みんな仲良くしたいです。仲良く笑ってすごしましょう。「笑う門には福来る」笑ってれば、健康になりますよ。笑って過ごせばいいですね。(笑)

議会広報編集委員会
委員長 吉田ひとみ
副委員長 川出 純
由良 守生・山名 実
中村 森・玉置 一郎

「懲罰特別委員会」設置の経緯について、議会より経過説明

議会より経過説明

由良守生議員が、過去9回、平成23年12月定例会から25年12月定例会まで行った一般質問(風力発電について)は、行政全般以外の同じ様な質問を行い、町執行部の答弁も数回にわたって同じであるにもかかわらず繰り返して来たことに対し、今回(3月14日)の一般質問について「議会運営委員会」から「一般質問に対する通告及び質問のあり方」についての問題提起があり、慎重に協議した結果、左記の事例を適用し、

①質問の範囲は、その町村の行政全般である。
(標規六一)
②同じ様な内容の質問を定例会毎に行うのは会期独立の原則から構わないが、前の定例会から変わった条件、条件が無いのであれば、同じ質問をする必要性が見つからない。
③町執行部の答弁が、数回にわたって同じ答弁である。

④短時間で質問できる事柄であり、長々と質問するのは宣伝行為、パフォーマンス行為とみなされる。

由良議員に対して、右記の4項目に該当する一般質問について、「議員本人の自制的問題であり、議会人であれば常識の問題である」との自粛を申し入れましたが、これを遵守しなかったため、3月14日、「由良町議会会議規則第56条第1項の規定」を適用し、極めて不本意ながら「質問時間5分以内とする」質問時間の制限が決定されました。

しかし、由良議員本人が、承知の上で民主的に決定した質問時間の制限を守らず、議長の前で再三にわたる制止も確信的行為で質問を続けた一般質問は「地方自治法」及び「由良町議会規則」に違反した

由良議員、議場での6月定例会で「再懲罰」、継続審査に

3月定例会最終日の20日、時間制限を無視し一般質問を続けた由良守生議員に対する「懲罰」について審議し、「公開の議場における陳謝」とするに本会議で可決。地方自治法により、委員会において作成し、議会議決を経た「陳謝文」を公開の議場で読み上げ懲罰を科すことを決定。

議長は、陳謝文朗読の意思を由良議員に求めましたが、陳謝文朗読は拒否しました。議長は、4度確認し、4度目には「拒否したとみなします」と宣言。

結果、懲罰動議は「再懲罰」となり、閉会中の継続審査となりました。

一般質問

議員が町行政の問題などを問いたす「一般質問」は6名の議員が質問に立ち、町当局の考えを質しました。以下その内容を要約してお知らせします。(文面はすべて質問者本人の原稿によるものです。)



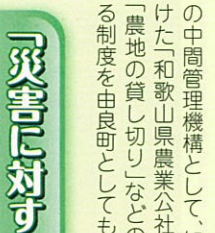
藤田 富三 議員

「活力ある地域産業づくり」について

答 (町長) 町の活性化プロジェクトチームから、いかに活力ある地域づくりをしていくかという事で8項目の提案を受けました。

平成26年度の予算において、地域拠点整備事業としてハード面で「旧原町の駐車場、トイレ、長屋門の整備」を実施していきます。ソフト面では、地域交流事業として「新開発の食事メニューの試食会」「観光客の誘致イベント」。

生活支援事業として「高齢者見守り活動を兼ねた配食サービス等の補助計画」を実施します。インターネット環境整備として「民間業者による無線LAN機能を持った監視カメラの自動販売機設置協力」を考えています。



川出 純 議員

「災害に対する危機管理」について

答 (町長) まず、2月14日の大雪による凍結「積雪」の通行止め、チェーン規制については、町内に設置しているライブカメラにより国道42号線や県道の通行状況などをリアルタイムで把握しております。

災害に関する措置は、根幹となる地域防災計画に基づき、迅速かつ的確に対応できるように職員の取るべき行動等についてまとめた災害時初動体制マニュアルを全職員に配布しています。津波や台風などにより大規模な事故等が発生した場合、ライフラインや公共交通機関等が停止され、町の施設や職員も被災する事が想定され、限られた人員と機材等で行政機能を早期に立ち上げて業務を遂行しなければなりません。

細部については、各課においてマニュアルを作成しており「ハザードマップ」の見直しを行い、3月末に町民の皆様方へ配布します。



中村 森 議員

健康保持や医療介護の抑制には予防が一番 地域へ出向いて直接指導する

問 今や自分の健康は、自分で守れないと言っても過言ではない時代です。それらの要因として、食品の産地や表示の偽装、黄砂やPM2.5の大気汚染、タバコによる受動喫煙、地域温暖化による想定外の災害で、人の命までも脅かされる等々、いかんともし難い問題があるように思いますが、だからと言って、何もしないで手をこまねている訳にはいけません。そこで健康を保つための予防についてお聞きします。

平成22年度に国保税、第5期介護保険事業計画で介護保険料が大きく値上げされています。でもその結果には、何らかの要因や原因があったはずで、それらの原因をどのように調査、分析をして今日まで対策を、また、今後についてもどのように取り組んで行こうとしているのか、お答え願います。

答 (町長) 国保税や介護保険料の値上げ要因は、診療報酬の改定や一人当たりの医療費の増、介護については、利用者の増とともに町内に特養ホーム30床が増え、サービスが充実すればする程、保険料の負担が大きくなって来ます。



山名 実 議員

福祉タクシー券の充実を

問 現在、由良町では、障害者の1級・2級の方、80歳以上の単身者の世帯のみ認められています。町内では、非常に喜んでいますが、80歳以上の高齢者世帯にも利用を充実すべきではないか。

答 (町長) 福祉タクシー券につきましては、二十数年前より社会福祉の観点から身体障害者手帳1・2級又は、療育手帳のA1・A2の保持者を対象にタクシー券を発行しており、初乗り運賃を補助しております。

高齢者福祉の拡大ということで80歳以上の1人暮らしに対しても発行しています。



山名 実 議員

由良町の長期的教育方針を 知・徳・体を兼ね備えた人材を

問 和歌山県教育委員会の方針として「道徳性の育成」、学力の向上について「基礎的・基本的な教養を養う」「生徒自ら学習に対する興味・関心を高めるよう学校で取り組む」として、補習の重要性については、「一人ひとりの理解度に合わせた補習学習が重要であり、すべての小・中学校に徹底するとあります。由良町の長期的な教育方針と補習の重要性と学力向上に対する取り組みをお聞かせください。

答 (教育長) 補習学習は非常に重要であると認識しており、基礎・基本の確実な定着を図っていくために大事なことで重点においております。

本年度の教育目標としては、「基礎・基本の確実な定着」「豊かな心の育成」「体力・運動能力の向上」「生徒指導の充実」「防災・防犯教育の充実」「社会教育の充実」の6点を目標に設定しており、長期的な教育方針については、小・中学校の連携を取り、積極的に取り組みを進め、教員の指導力の向上、家庭教育の支援、地域住民のボランティアを頂きながらの学校教育支援これらの取り組みを重点目標に進めていきます。



吉田ひとみ 議員

安全で安心な住みやすい町づくりについて

問 由良小学校の児童とその附近の住民の一時避難場所として横浜の紺源山等に避難所と避難路を。

答 (教育長) 由良小学校の児童の避難場所は、開山興国寺を想定しています。避難訓練では興国寺までは22分で完了しています。避難場所としては、最も安全だと考えていますのでご理解を。

問 通称、見上山の上に広場を検討して欲しい。



由良 守生 議員

風力発電による健康被害について 県において、国へ環境基準を要請している

問 平成25年12月20日付けで日本弁護士連合会が、「低周波音被害について医学的な調査・研究と十分な規制基準を求める意見書」を環境省、経済産業省に対して提出しました。

由良町の事も載っています。意見書の趣旨は、被害者の実態を踏まえ、科学的調査を行うべきであり、感覚閾値論や参照値を撤回すべきであると書かれています。この日弁連の意見書に対する町長の見解を求めます。

答 (町長) 意見書に対する見解ということですが、今まで何回か、由良議員の質問に対して答弁させていただいています。県において、国に対して環境基準を設定すべく数回にわたって要請しています。



日弁連の意見書提出以前から、取り組んでいるということごで理解をお願いいたします。

答 (町長) 意見書に対する見解に対して、「議会運営委員会」から「一般質問に対する通告及び質問のあり方」についての問題提起があり、由良議員に対して自粛を求めましたが、これを遵守しなかったため、由良町議会会議規則第56条第1項の規定を適用し、極めて不本意ながら「質問時間5分以内とする」と質問時間の制限が決定されました。(経過説明については、裏表紙をお読み下さい。)